

＜集計分析結果＞

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～第8期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和2(2020)年8月

＜能勢町＞

目次

調査の概要.....	1
1 基本調査項目(A票)	1
(1) 世帯類型	1
(2) 家族等による介護の頻度.....	1
(3) 主な介護者の本人との関係.....	2
(4) 主な介護者の性別	2
(5) 主な介護者の年齢	3
(6) 主な介護者が行っている介護.....	4
(7) 介護のための離職の有無	5
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	5
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス.....	6
(10) 施設等検討の状況.....	6
(11) 本人が抱えている傷病.....	7
(12) 訪問診療の利用の有無.....	8
(13) 介護保険サービスの利用の有無.....	8
(14) 介護保険サービス未利用の理由.....	9
2 主な介護者様用の調査項目(B票)	10
(1) 主な介護者の勤務形態	10
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	11
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援.....	12
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識.....	13

(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	13
3 要介護認定データ	14
(1) 年齢	14
(2) 性別	14
(3) 二次判定結果(要介護度)	15
(4) サービス利用の組み合わせ	15
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	16
(6) 通所系サービスの合計利用回数	16
(7) 短期系サービスの合計利用回数	17
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	17
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	18

※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

調査の概要

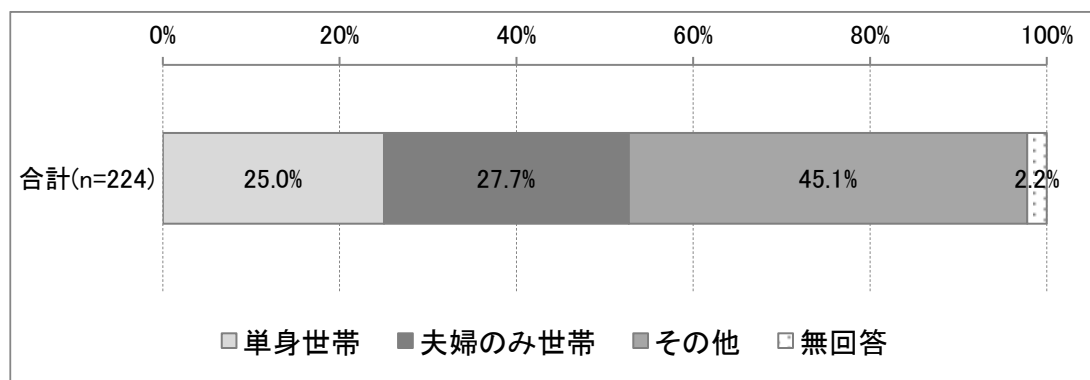
調査期間	令和 2 年 5 月 25 日～6 月 19 日
調査方法	郵送による配布、回収
調査対象者	介護保険第 2 号被保険者を含む介護保険要介護認定者 (介護保険施設入所者を除く)
対象者数	372
有効回答者数	224
回収率	60.2%

1 基本調査項目(A票)

(1) 世帯類型

「世帯類型」では「単身世帯」が 25.0%、「夫婦のみ世帯」が 27.7%となっており、高齢者のみの世帯が 52.7%と、過半数を超えています。

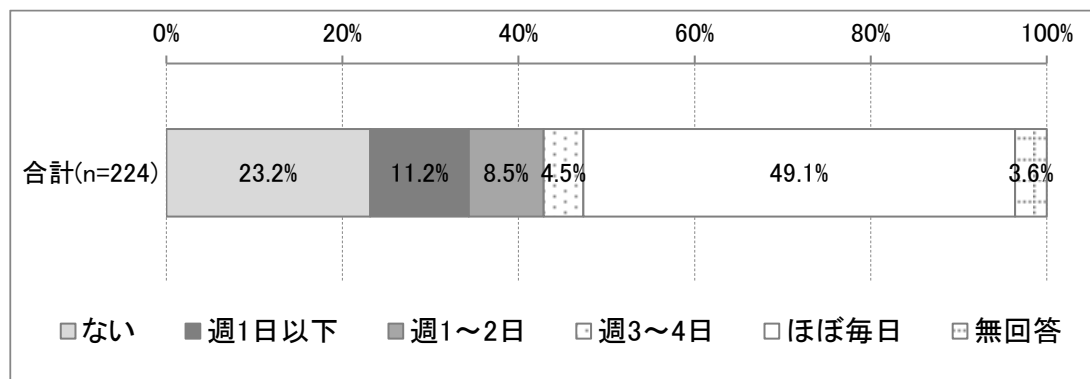
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「家族等による介護の頻度」について「ほぼ毎日」が 49.1%とほぼ半数を占め、「ない」は 23.2%となっています。それぞれの頻度を合計すると、73.3%が家族等による介護を行っていることになります。

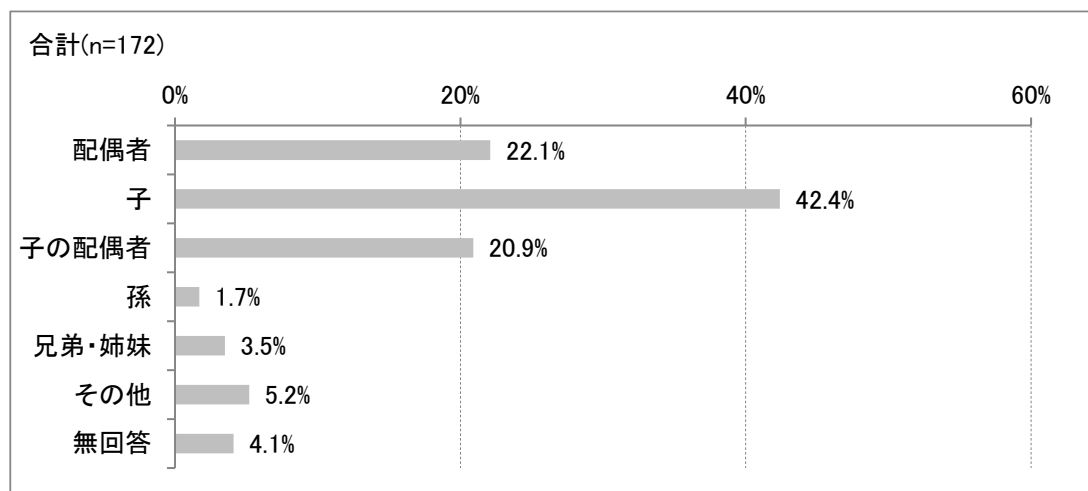
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「主な介護者」は「子」が42.4%と最も多く、次いで「配偶者」が22.1%、「子の配偶者」が20.9%となっており、「配偶者」「子」「子の配偶者」を合わせると85.4%と大半を占めています。

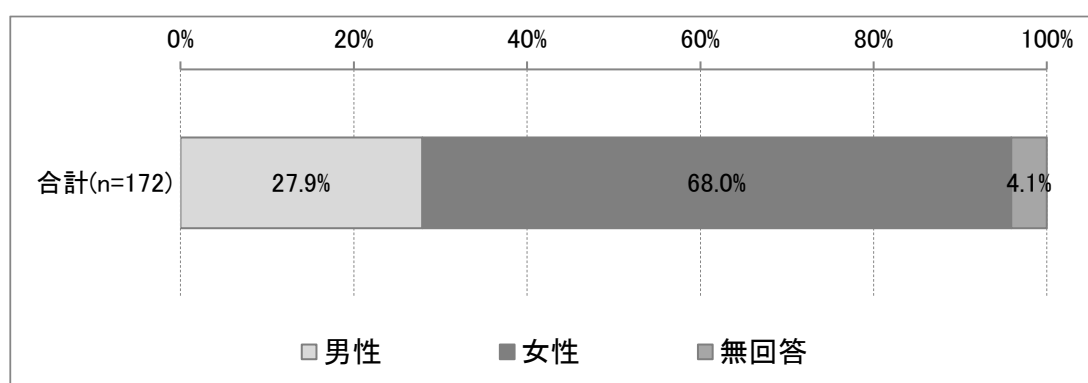
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係（単数回答）



(4) 主な介護者の性別

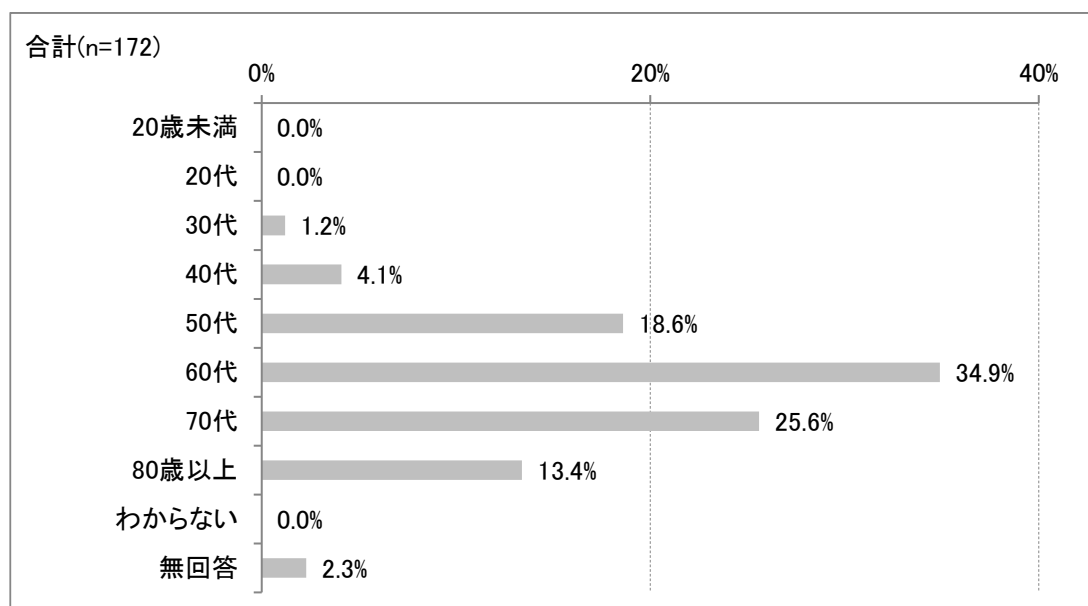
「主な介護者」の68.0%が「女性」となっています。

図表 1-4 ★主な介護者の性別（単数回答）



(5) 主な介護者の年齢

図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



「主な介護者の年齢」では「60代」が34.9%と最も多く、次いで「70代」が25.6%、50代が18.6%となっています。

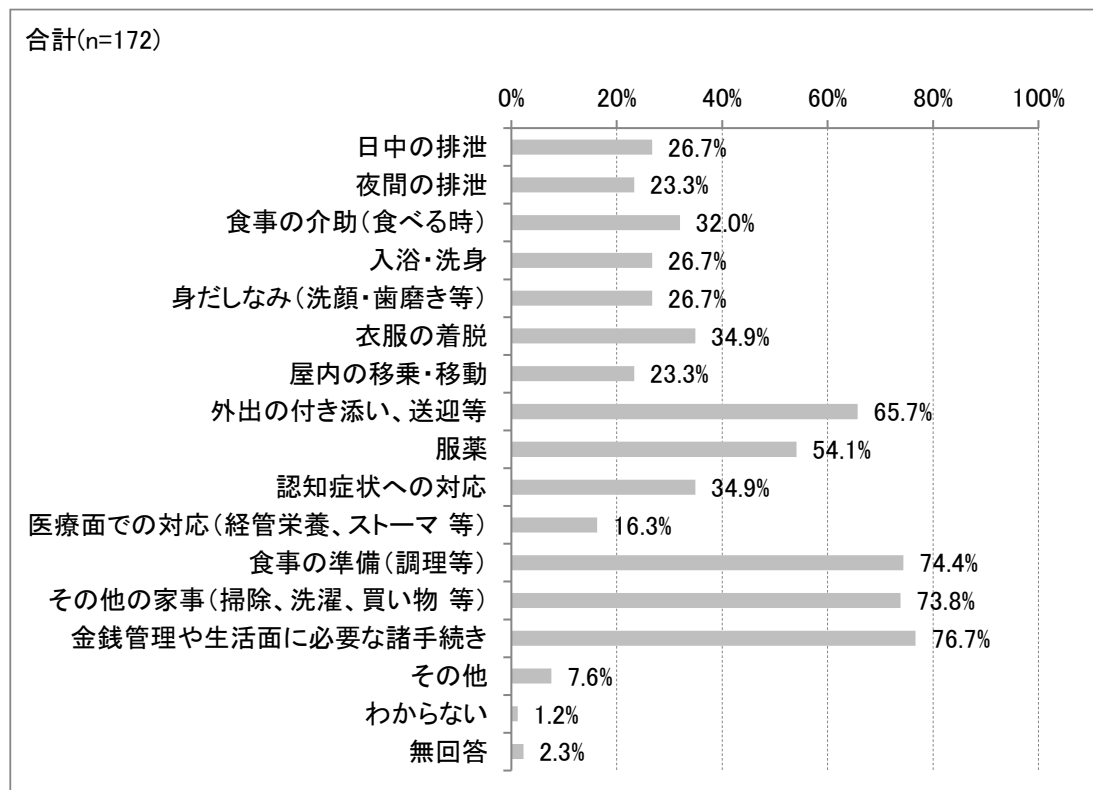
老老介護と思われる「70代」以上は39.0%となっています。

(6) 主な介護者が行っている介護

「主な介護者が行っている介護」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が76.7%と最も多く、次いで「食事の準備(調理等)」が74.4%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)」が73.8%と、「生活援助」に関わる介護が多くなっています。

「身体介護」では「外出の付き添い、送迎等」が65.7%と最も多く、次いで「服薬」が54.1%となっています。

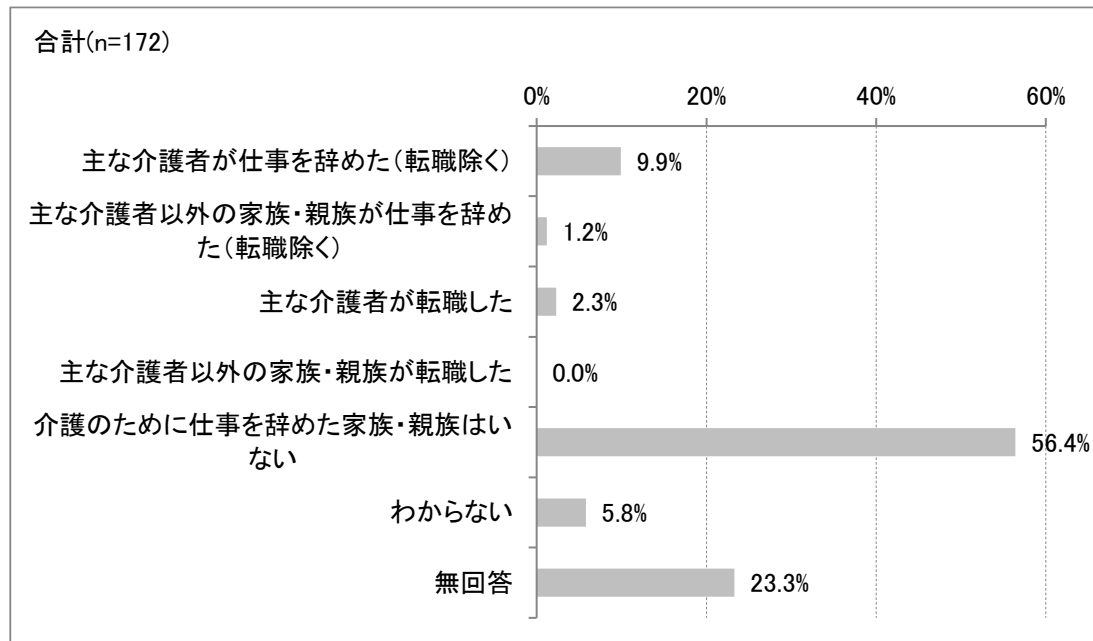
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のための離職の有無」では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は 56.4%になっています。「主な介護者が仕事を辞めた」は 9.9%、「主な介護者が転職した」は 2.3%と、介護のために離職した主な介護者は 12.2%になっています。

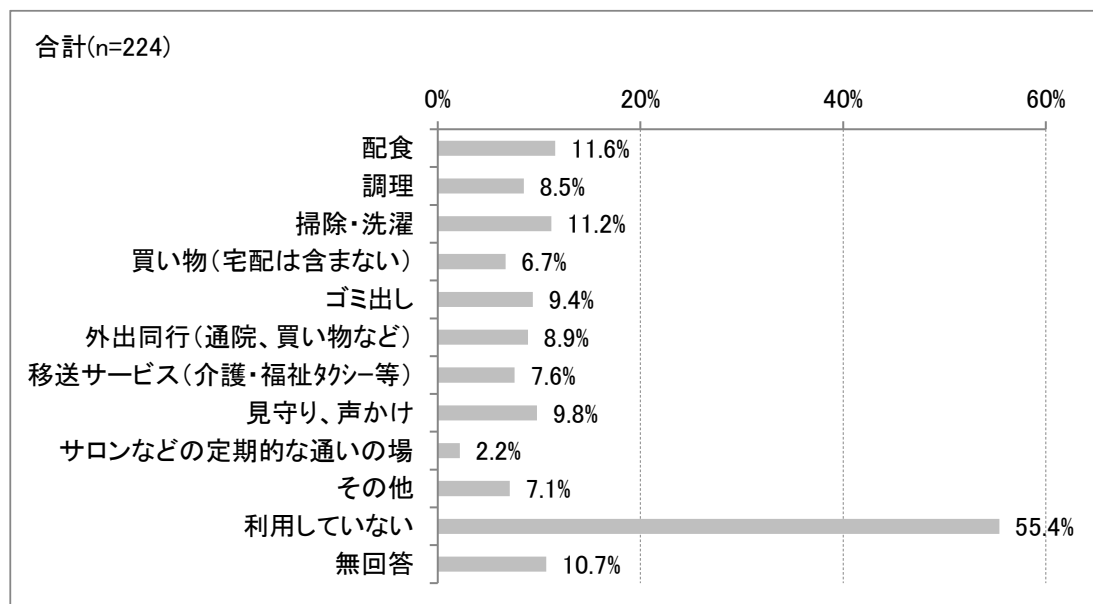
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「保険外の支援・サービス」を利用していないと回答した人は 55.4%を占め、利用している保険外サービスは 2.2%～11.6%となっています。

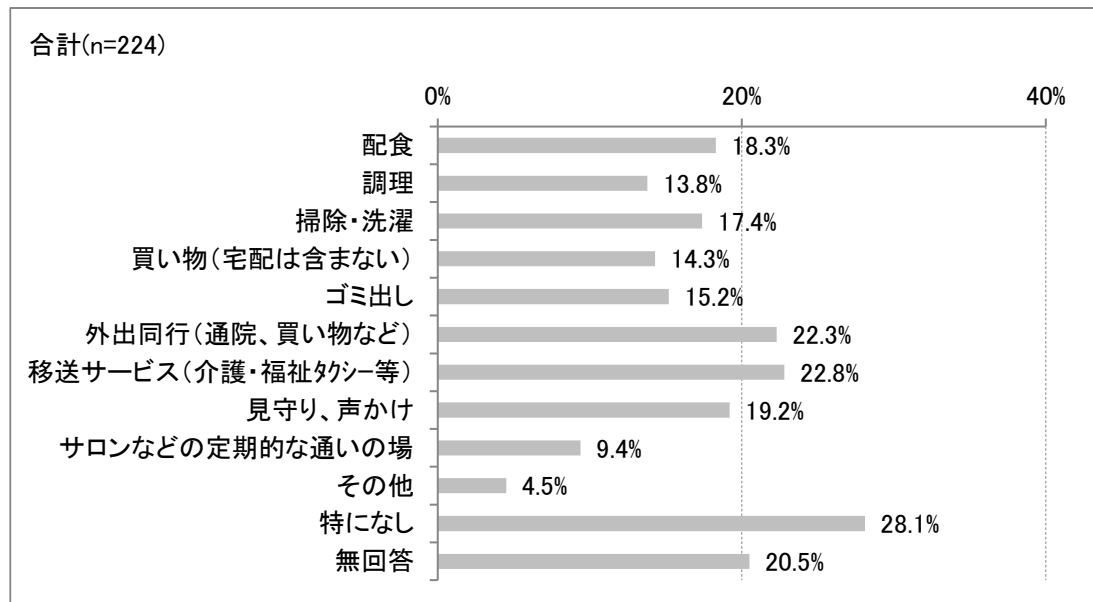
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が22.8%と最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が22.3%、「見守り、声かけ」が19.2%になっています。

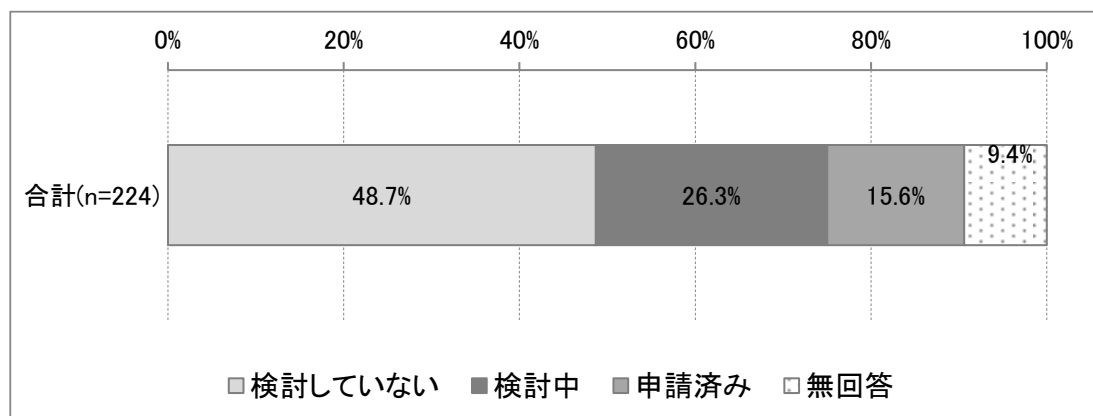
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「施設等検討の状況」では「検討中」が26.3%、「申請済み」が15.6%となっており、施設などへの入所意向を指定している方は41.9%となっています。

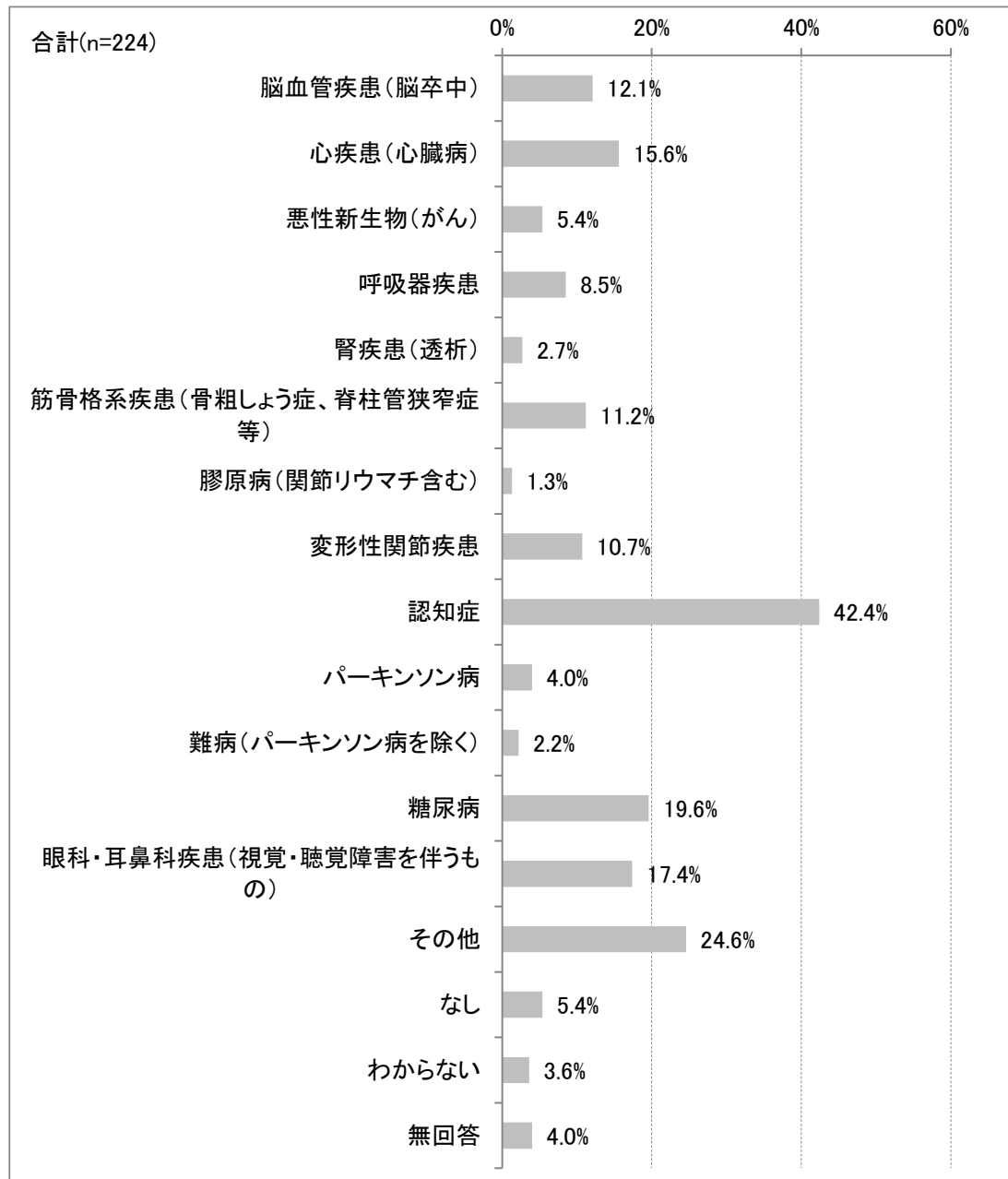
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「本人が抱えている傷病」では「認知症」が42.4%と突出しており、次いで「糖尿病」が19.6%、「眼科・耳鼻科疾患」が17.4%、「心疾患(心臓病)」が15.6%となっています。「その他」は24.6%でした。

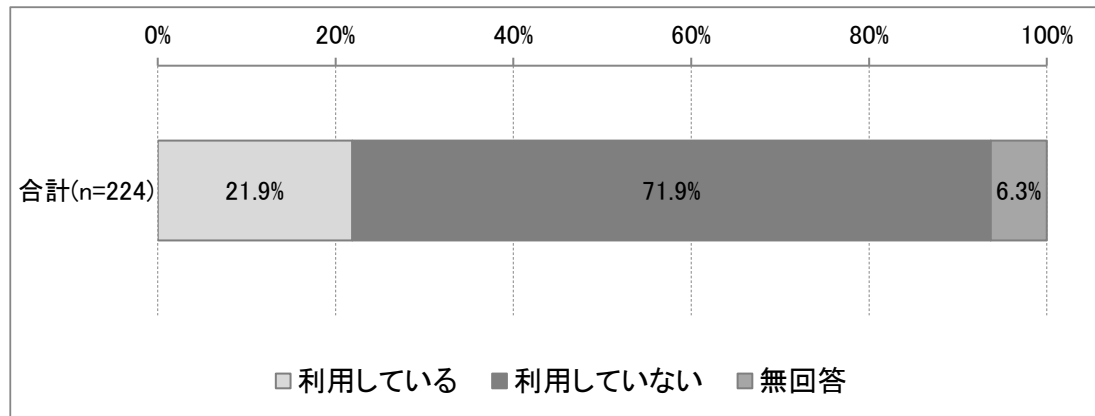
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病（複数回答）



(12) 訪問診療の利用の有無

「訪問診療の利用」では「利用している」が 21.9%に対し、「利用していない」は 71.9%となっています。

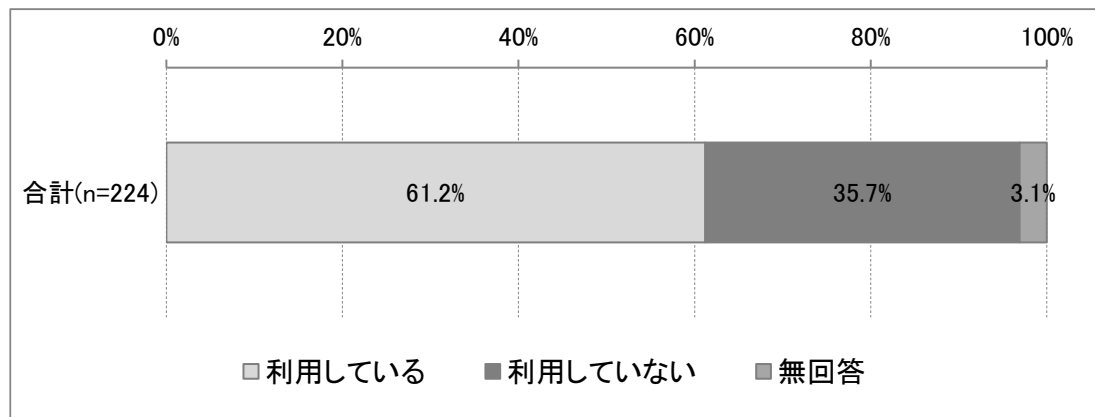
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無（単数回答）



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「介護保険サービスの利用」では「利用している」が 61.2%に対し、「利用していない」は 35.7%となっています。

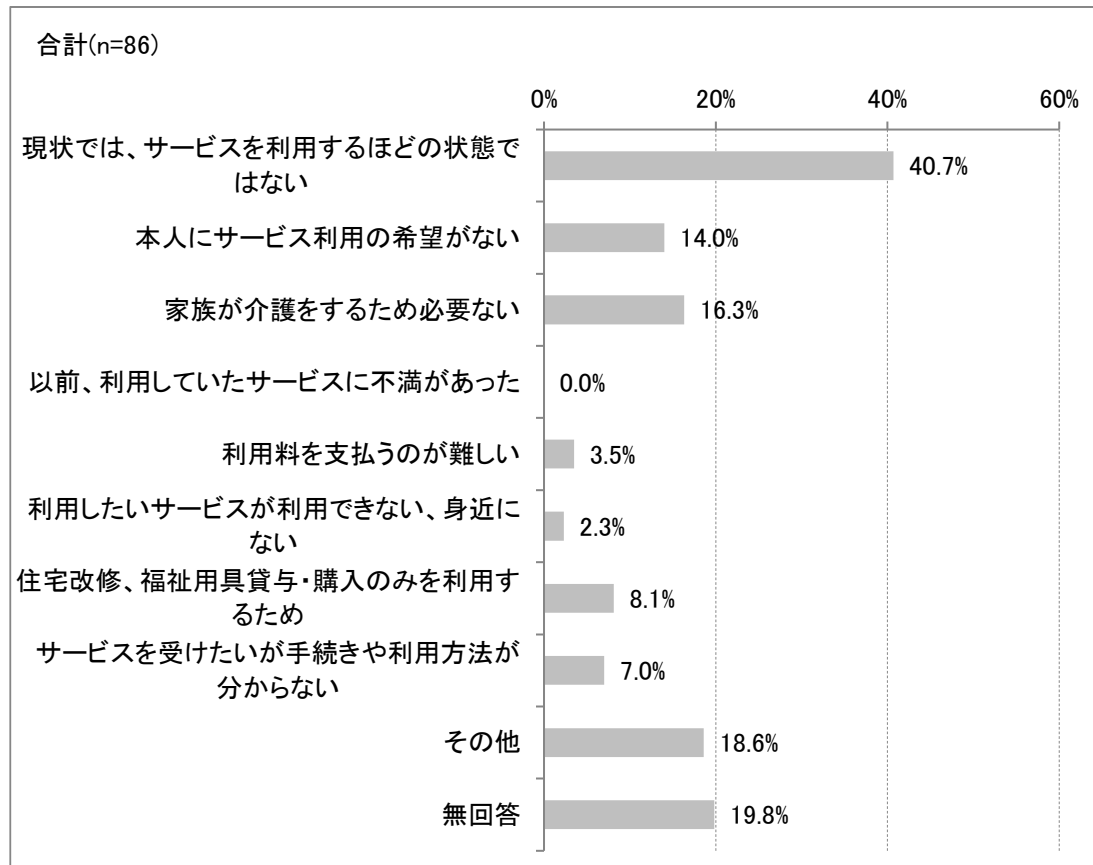
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



(14) 介護保険サービス未利用の理由

介護保険サービスを利用していない理由は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.7%と最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が16.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が14.0%となっています。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

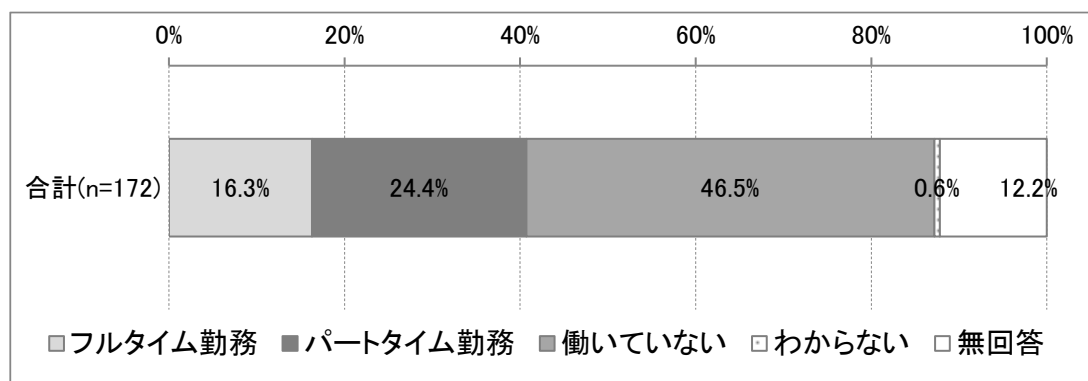


2 主な介護者様用の調査項目(B票)

(1) 主な介護者の勤務形態

「主な介護者の勤務形態」では「フルタイム勤務」が 16.3%、「パートタイム勤務」が 24.4%であり、何らかの職についている主な介護者は 40.7%となっています。

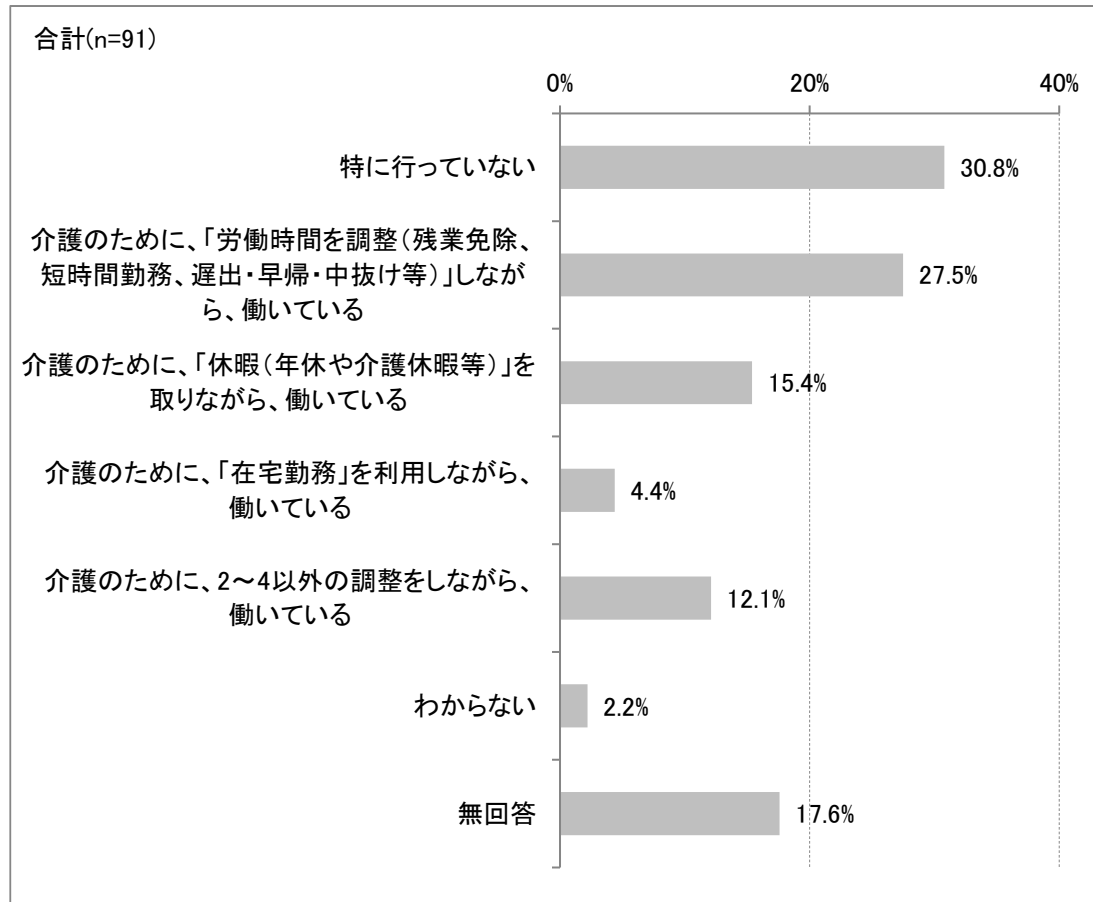
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「主な介護者の方の働き方の調整」では「特に行っていない」が 30.8%と最も多く、次いで「労働時間を調整しながら働いている」が 27.5%、「休暇を取りながら働いている」が 15.4%となっています。「在宅勤務」は 4.4%と少なくなっています。

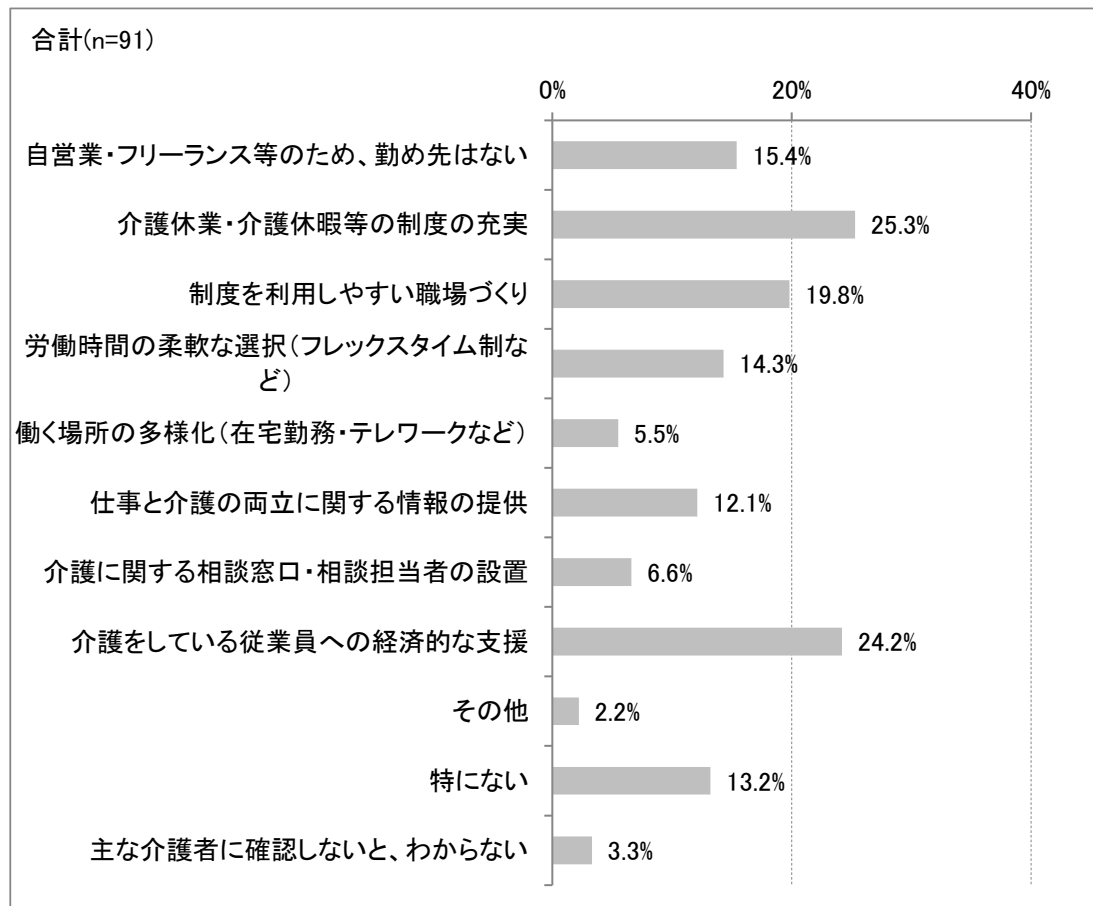
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.3%と最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.2%、「制度を利用しやすい職場環境づくり」19.8%となっています。

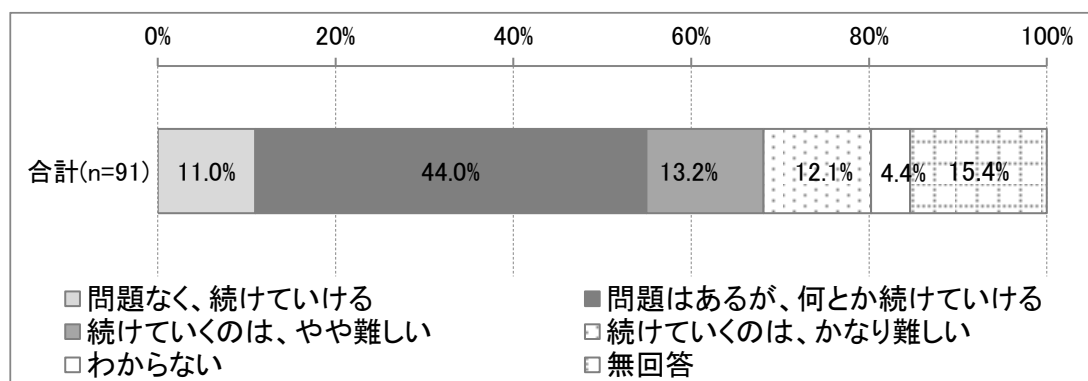
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「主な介護者の就労継続の可否に係る意識」では「問題なく続けていける」は 11.0%と少なく、「問題はあるが何とか続けていける」が 44.0%、「続けていくのはやや難しい」が 13.2%、「続けていくのはかなり難しい」が 12.1%となっています。就労継続が難しいとしている主な介護者は 25.3%でした。

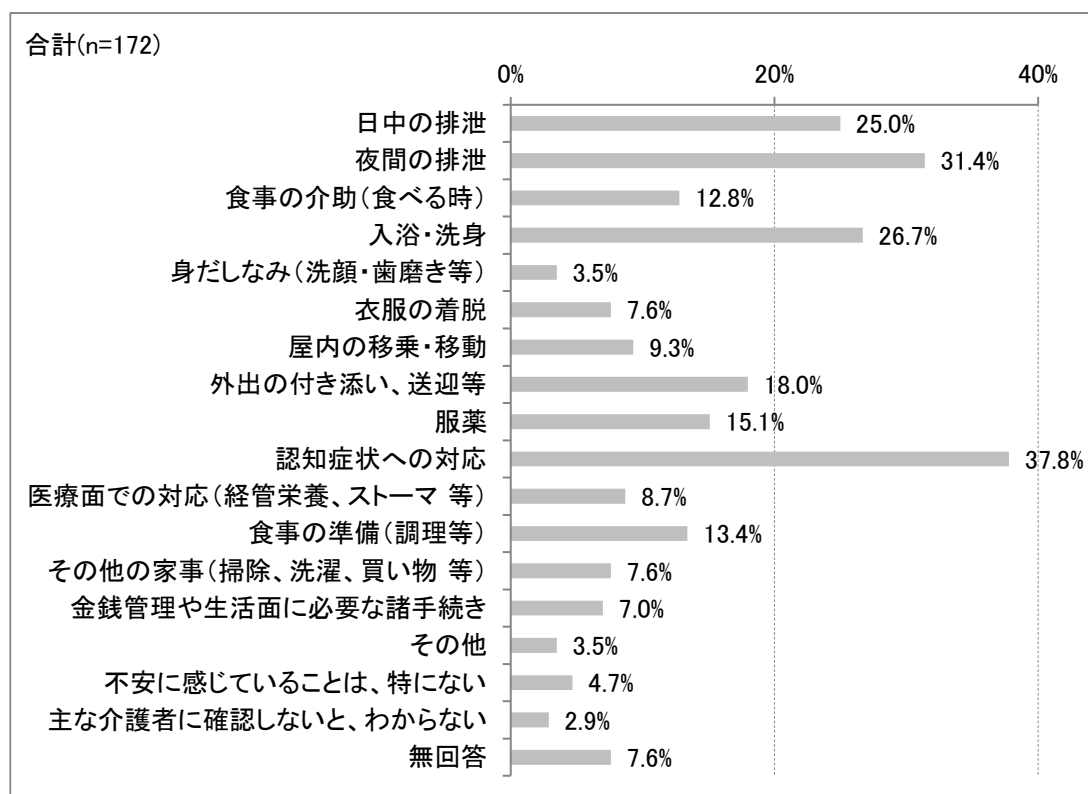
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「主な介護者が不安に感じる介護」では「認知症状への対応」が 37.8%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が 31.4%、「入浴・洗身」が 26.7%、「日中の排泄」が 25.0%となっています。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

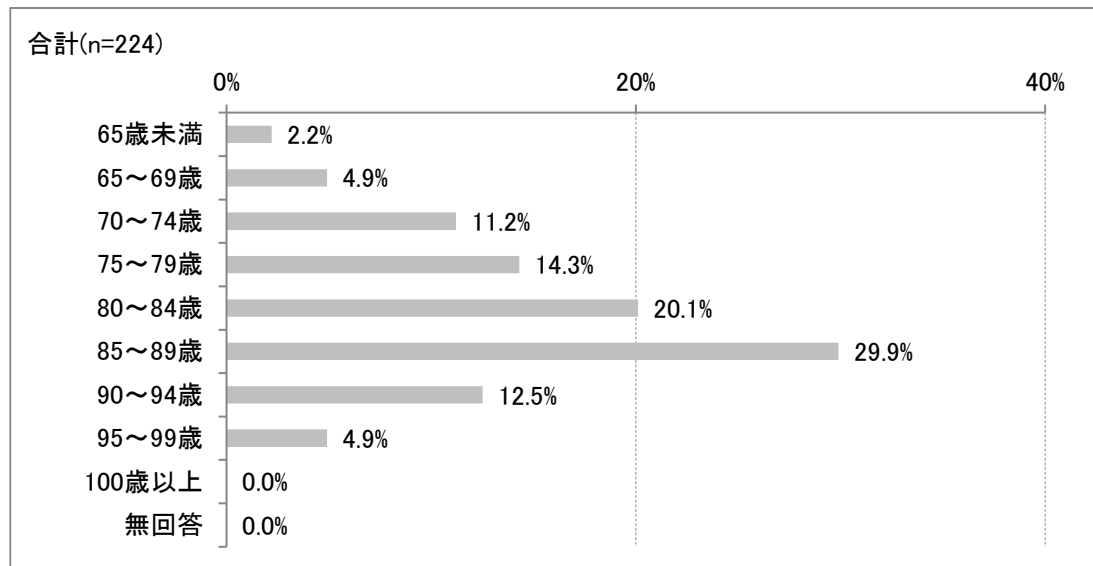


3 要介護認定データ

(1) 年齢

介護保険施設入所者を除く介護保険要介護認定者の年齢は「85～89 歳」が 29.9%ともっとも多く、75 歳以上の後期高齢者が 81.7%を占めています。

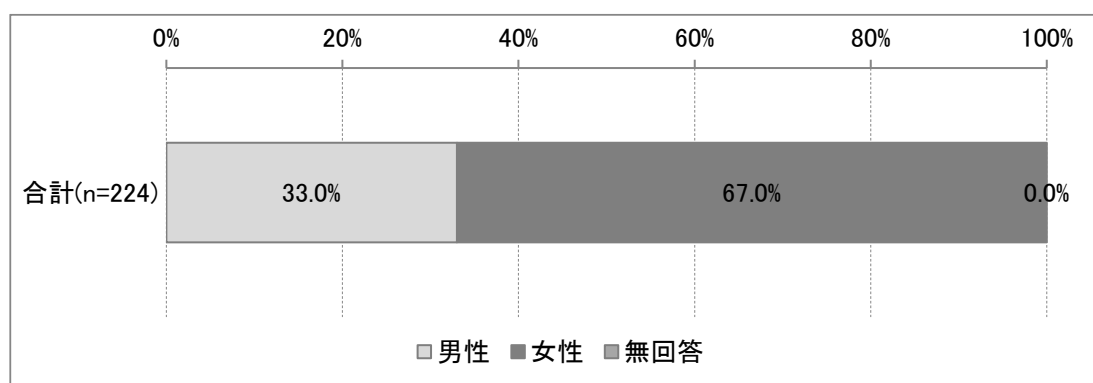
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「性別」では「男性」が 33.0%に対し、「女性」は 67.0%になっています。

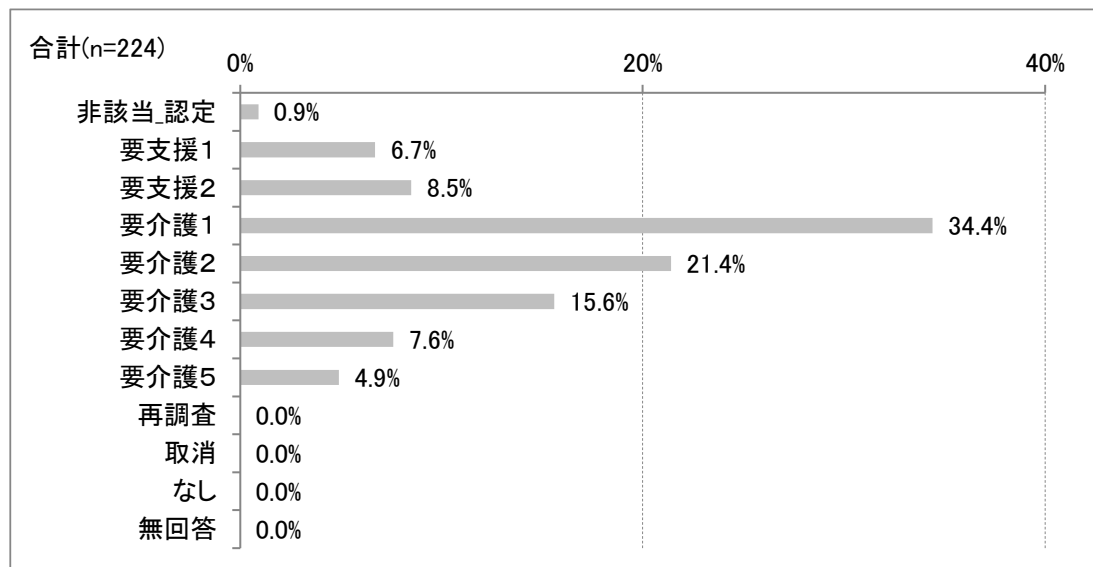
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果(要介護度)

介護保険施設入所者を除く「二次判定結果(要介護度)」では「要介護 1」が 34.4%と最も多く、次いで「要介護 2」が 21.4%、「要介護 3」が 15.6%となっています。

図表 3-3 二次判定結果

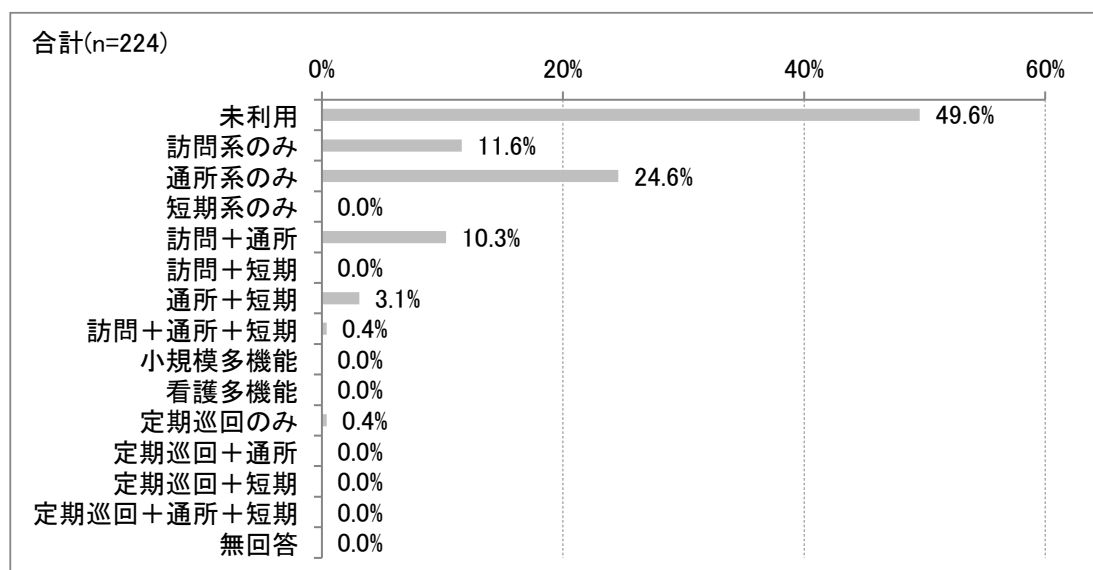


(4) サービス利用の組み合わせ

「サービス利用の組み合わせ」では「通所系のみ」が 24.6%と最も多く、次いで「訪問系のみ」が 11.6%、「訪問+通所」が 10.3%となっています。

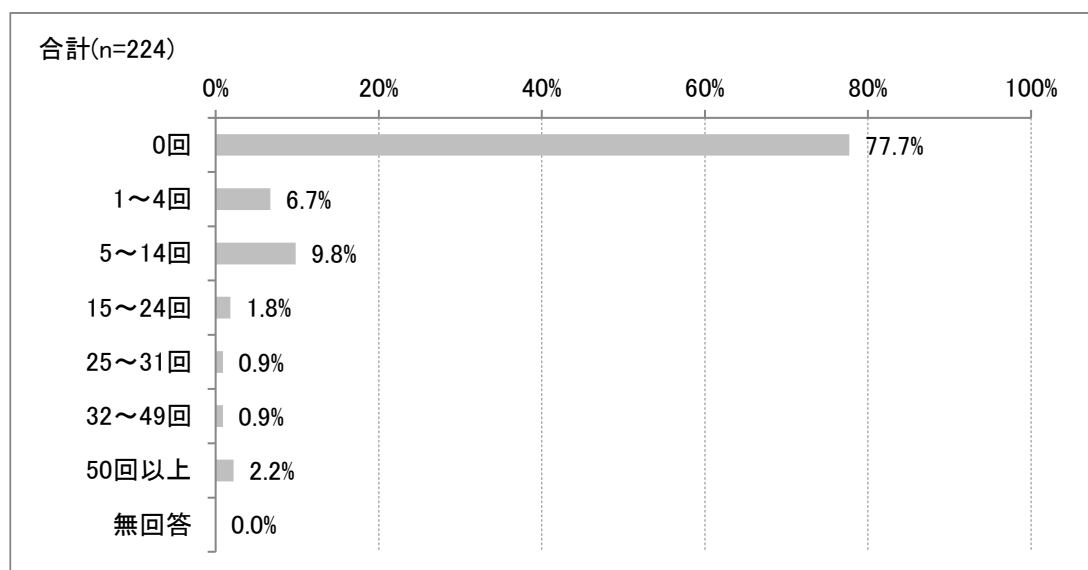
また「未利用」は 49.6%でした。

図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



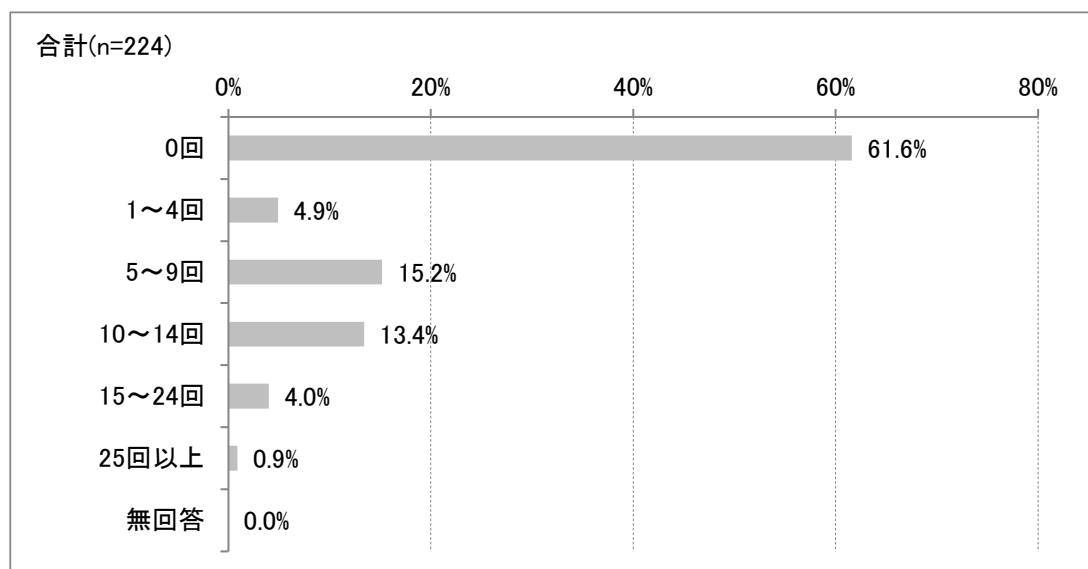
(5) 訪問系サービスの合計利用回数

図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



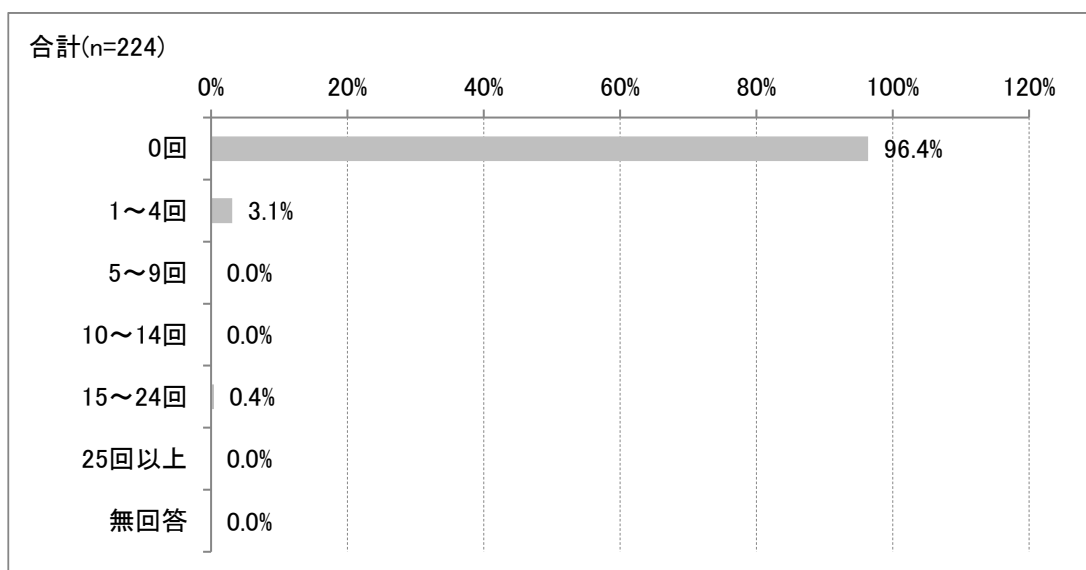
(6) 通所系サービスの合計利用回数

図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）

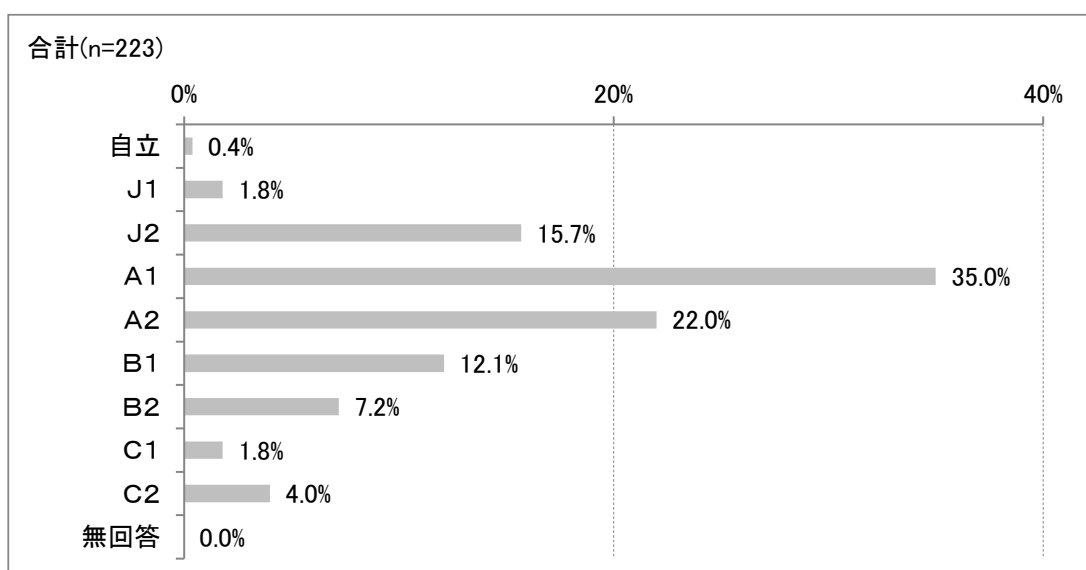


(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「障害高齢者の日常生活自立度」では「A1」が 35.0%と最も多く、次いで「A2」が 22.0%と、準寝たきりとされる「A ランク」の合計が 57.0%となっています。

寝たきりとされる「B ランク」以上は 25.1%となっています。

図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「認知症高齢者の日常生活自立度」では「Ⅱb」が 37.7%、次いで「Ⅰ」が 19.7%、「Ⅲa」が 12.1%となっています。

「適切な見守りがあれば自立できる」とされる「Ⅱランク」は 46.7%、「介護を必要とする」とされる「ランクⅢ」以上は 16.9%となっています。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度

